平成３０年度第１回米子市地方創生有識者会議

○日時
平成３０年８月２７日（月）
○場所
米子市役所旧庁舎６０３会議室

○議題
（１）平成２９年度における地方創生の取組実績について
　ア　平成２９年米子市の人口動向について
　イ　米子がいな創生総合戦略「平成２９年度の取組実績」について
　ウ　平成２９年度において国の地方創生関連交付金を活用して実施した事業の効果検証について
（２）今後のスケジュールについて

○出席者
古賀敦朗座長、入江到委員、植田睦美委員、岡村哲晶委員、佐貫馨委員、澤田裕一委員、辻能実委員、森田慎一委員、山下進弘委員、吉川浩委員、濵本修オブザーバー

○欠席者
但馬清美副座長、齊木恭子委員、中西広則委員、徳田真吾オブザーバー

○米子市
副市長　伊澤勇人
総合政策部長　大江淳史
　　都市創造課長　若林満弘
　　男女共同参画推進課長　的早ゆかり
　　次長兼淀江振興課長　橋井雅巳
福祉保健部次長兼こども未来局長　景山泰子
　　次長兼福祉政策課長　大橋賢二
　　健康対策課長　清水宏紀
　　こども相談課長　橋尾宏紀
　　子育て支援課長　湯澤智子
経済部長　大塚寿史
　　文化観光局長兼文化振興課長　岡雄一
　　農林水産振興局長兼農林課長　高橋浩二
　　経済戦略課長　雑賀英明
　　次長兼商工課長　杉村聡
　　観光課長　中久喜知也

教育委員会事務局長兼教育総務課長　松下強
次長兼学校教育課長　金川朋史

〇事務局
総合政策部次長兼総合政策課長　八幡泰治
総合政策課まちづくり戦略室長　倉本樹
総合政策課主任　宮本朋子

〇傍聴者数：１人
〇報道関係：２社

※読みやすさ等のため、発言の趣旨を損なわない範囲で、重複表現、言い回しなどを整理しています。

１０時００分　開　会

○八幡総合政策課長

ただ今から、平成３０年度第１回の米子市地方創生有識者会議を開催いたします。

私は、総合政策課の八幡でございます。

議事に入りますまで、本日の日程に従いまして、会議の進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

はじめに、このたび委員に変更がございましたので、ご紹介をさせていただきます。

一言ごあいさつをいただけますでしょうか。

○入江委員

鳥取銀行の入江と申します。どうぞよろしくお願いします

この５月に米子の方に転勤してまいりまして、この会に参加させていただくことになりました。まだ米子のことは不勉強でございますし、勉強中ということでございますけれども、前の職場の鳥取市の方で地方創生の会議に出させていただきましたので、ほかの地域での取組であったり、銀行でさせていただいていたこと等お話ができればと思っております。どうぞよろしくお願いします

○植田委員

私、４月より米子ハローワークのほうに就任させていただきました、植田と申します。ハローワーク米子・ハローワーク境港、地域の皆さんにいろいろとお世話になりながら、長年ハローワークの業務をしてまいりました。ここ７年ほど、鳥取のほうに行っておりましたけれども、また地域の皆さんにお世話になりながら、ハローワーク業務のほうを進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○澤田委員

みなさんおはようございます。この４月に移動で米子日吉津商工会事務長に着任いたしまして、本日お世話になります澤田と申します。この前は鳥取県西部商工会産業支援センターというところにおりまして、西部の７つの商工会のとりまとめ、支援機関におりました。米子市の総合戦略等は耳にはしておりましたが、深くはまだ存じ上げないんですけれども、勉強しながら、商工会としてできることとか、思っていることとか、お伝えできればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○辻委員

私は２０１８年の米子青年会議所の専務理事の辻と申します。よろしくお願いいたします。我々、米子青年会議所は単年度制でありまして、私は本年１月から専務を承っております。来年の１月にはまた新たな方がこられますが、任期としては６月までということで務めてまいりたいと思っております。我々、米子青年会議所は米子市の街づくり的な事業も今後も展開していきますので、皆さんご協力よろしくお願いいたします。

○八幡総合政策課長

ありがとうございました。以上、委員の変更についてご案内させていただきました。今後の地方創生有識者会議は、委員等名簿のとおりの体制で進めさせていただきたいと思いますので、皆様よろしくお願いします。

なお、本日は、但馬副座長さん、齊木委員さん、中西委員さん、オブザーバーの徳田さんが欠席とのご連絡をいただいておりますので、報告いたします。

続きまして、副市長がごあいさつを申し上げます。

○伊澤副市長

本日は大変お忙しいところ、有識者会議ということでお集まりいただき、まことにありがとうございます。

改めて申し上げるまでもございませんが、米子市の地方創生の取組当初の計画の折り返しを過ぎたということでございます。

この４月には組織機構も少し改めまして、地方創生を中心とした米子市の取組をしっかり実効あるものにしていくこととしております。人もお金もそうですが、費やす資源はますます限られていきますので、その効果・効率というものをしっかり検証し、かつこの有効性を高めていくという取組が肝要です。

本日は、平成２９年度の地方創生の取組実績を中心に、ご意見をいただくことになります。これから先に向けて、本日採り上げるのは、米子のデータが中心になりますが、米子市のことだけを見ていていいのかどうか、西部圏域全体をどう考えるのかという視点も絶対に必要だと私は思っておりますし、さらに言えば米子市を中心とした西部圏域あるいは鳥取県圏域全体の流れの中で、米子市として非常にたくさんの取組が増えておりますが、やはり有効性あるいは効果性といったものを踏まえて、取組をある程度重点化していくようなことも必要ではないか、ということを内部では議論しております。そういった観点で委員各位の忌憚のないご意見を頂戴できれば、今後の取組に反映できるのではないかと考えておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

○八幡総合政策課長

続きまして、古賀座長さんにごあいさつを賜りたいと存じます。古賀座長さん、よろしくお願いします。

○古賀座長

皆さんおはようございます。この「米子がいな創生総合戦略」についての皆様の役割は、これまでずっと来られている方はよくご存知だと思いますが、今回新しい顔ぶれがお越しですので、改めて申し上げますと、この「米子がいな創生総合戦略」、地方創生に向けての米子市の取組について、各方面からこの総合戦略の今の状況について厳しい意見を言っていただくのと合わせて、皆様のお立場にかかわらず、米子市民としての立場も含めて、ぜひこれを盛り立てていくというような目線で、ご意見をいただきたいという風に考えてお

ります。この会は、結論を出す会ではありませんので、皆さん忌憚のないご意見をいただければと考えております。今日はどうぞよろしくお願いします。

○八幡総合政策課長

ありがとうございました。

それでは、これより本日の議事に入りまして、進行を古賀座長さんにお願いしたいと思います。古賀座長さん、よろしくお願いします。

○古賀座長

それでは私の方から進行を務めさせていただきます。

この有識者会議、平成２７年度からスタートしまして、今年で丸３年を過ぎて、４年目を迎えるということです。折り返し地点を迎えたということで状況につきまして、かなり進展のあったものもあるかと思います。ぜひその辺についても皆さんと意見交換をしていきたいと考えております。

それでは議事の方に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

事務局　資料１「平成２９年米子市の人口動向について」説明

○古賀座長

ありがとうございました。なにかご質問ご意見等ありますでしょうか。

○森田委員

高専の森田でございます。２９年度の資料も例年どおり、県外からの移住者はマイナスですが、山陰地区からの転入者は多いという傾向にあると思います。米子市は山陰の中では転入の受け皿になり得るような産業等がある土地柄なのかなと毎回思うところでございます。自然増減に関しては、長期的に対策していかなければならない面で、短期的には、この地域に仕事があるということであれば、人口を維持できるのではないかと思います。鳥取県の方で、新しい会社を融資されたという情報がありまして、来週にでも、求人の件でこちらにお話をいただけるということを聞いています。米子市の方は、特に短期の企業誘致というのは順調に進められているのでしょうか。

○古賀座長

企業誘致について市の方からご説明いただけますでしょうか。

○大塚経済部長

昨年度は２件の企業進出があったということです。企業誘致につきましては、用地の取得ということが一番にあります。企業進出の話はございますが、即応的に対応できる土地を確保するのは、米子の制度上非常に難しいことになっておりますので、制度上の問題のクリアも含め、内部で調整を進めているところでございます。

また雇用の問題というのがございます。大阪の企業の皆さんと話をしますと、市の方がきちんと働く人間を確保してくれれば、企業進出も本格的に考えるというようなお話も出るくらい、人材の確保に企業さんは困られていると考えております。そういった面からも、総合的な政策として検討しているという状況でございます。

○佐貫委員

今の話の中で、土地があまりないと。冒頭の副市長の挨拶の中で、西部圏域全体を見て考えていく必要があるということでした。例えば南部町の原工業団地にＴＶＣなどが来ておりますが、調べてみますと、ほとんどの方が米子市内の方から通勤しているということで、やはり米子市内の土地にかかわらず、西部圏域の中で土地が有効利用されるところがありますので、そういったところに企業を誘致して、米子市内の方が働きに出ると、そういった考えに基づいて、進めていく必要もあるんではないかなと思います。

○大塚経済部長

今員さんがおっしゃられた通りでして、昔は働く人を集めてくる距離というのが１０ｋｍということでございましたが、今は３０ｋｍということでございます。西部圏域は全部通勤圏に入るということでありますので、他市町村とも、そういった連携を含めて、進めてまいりたいというふうに考えています。

○森田委員

もう一つですけど、米子市は商都と呼ばれる、商いが強いところでもあるので、是非その商業関係の企業を誘致いただければもっと活性化できるんじゃないかなと思います。

○古賀座長

商業的と言いますと、具体的にはものづくりというより、もう少しサービス業というところですか。

○森田委員

そうですね、一時期話題になりましたスターバックスとかですね、あと大手のコンシューマー系の企業さんも続々と来る。街なんか車で走っていて、活性化したなという感じがしますので、そういうところもあるといいんじゃないか、というのが素人の意見でございます。

○古賀座長

その他ご意見等ございますでしょうか。特にないようでしたら、次の議題の方に移りたいと思います。取組実績につきまして、状況をお聞かせいただこうと思っております。

事務局から説明をお願いします。

事務局　資料２～４「米子がいな創生総合戦略　平成２９年度の取組実績について」「平

成２９年度において国の地方創生関連交付金を活用して実施した事業の効果検証について」説明

○古賀座長

米子がいな創生総合戦略の平成２９年度までの状況について、またそれに関連する地方創生関連交付金事業の実施状況について説明をいただきました。膨大な資料になっておりますが、この中で、それぞれの取り組み内容の状況、KPI、目標値達成に向けてのルート等について、是非皆様からご意見等頂戴したいと思いますが、どなたかご発言ございますでしょうか。

○岡村委員

皆生温泉の入込客数について、外国人の宿泊は順調に伸びているけれども、全体としては落ちているということでした。米子市は皆生温泉以外、駅前の方にもホテルがありますけれども、その辺りのデータは取れないんでしょうか。米子市全体にそもそも観光客が来ていないのか、皆生温泉に観光客が来ていないのか、その辺りも分析する必要があるんじゃないかと思います。

また、順調に外国人宿泊客数が伸びているということなので、これを米子の強みとして、なぜ外国人が米子に来ているのかということと、行政による民間の事業者に対する外国人対応力強化支援についてイメージを何かお持ちであればお聞かせいただきたいと思います。

○大塚経済部長

データのことでございますが、皆生温泉につきましては入湯税がございますので、これを用いて計測しております。と同時に、米子駅前のホテル、泊食分離型のホテルは、ここ１０年ほど非常に伸びてきておりまして、昨年がピークで、本年も、昨年と同様に推移しているということです。これについてはデータを貰えるところ、貰えないところがございますので、推計値という形で、市の観光課が独自で推計したものを発表させてもらっております。その中で、現在皆生温泉の宿泊客数をすでに抜いているというような数字になっていまして、皆生温泉と駅前とで約１２０万人程度の宿泊客がおられるという推計をしております。

またインバウンドでございますが、やはり交通の要衝でありますとか、ＤＢＳクルーズですとか、またエアラインの関係もありまして、北東アジアを含め、訪れるお客さんが毎年多くなっている現状がございます。数年来、市としましても県と一緒にインバウンド対策をいろいろ打ってきたんですが、なかなか効果を得ることができませんでした。しかしここ１・２年、民間の事業者さんから「インバウンドはお金になる」というようなお話をいただけるようになりました。そういった中で鳥取県西部地域活性化協会さんが立ち上がり、アリペイ・WeChat Pay というような電子決済に取り組まれるということで、県と一緒に支援しました。今、インバウンド圏域というものを確立していくという形で、インバウンド対応の強化を図っておるところです。

○入江委員

あわせて観光の関係で、皆生温泉で見てみると、インバウンドは９千人弱ぐらい増えているけれども、一方全体としての入込みは大幅に人数を減らしているような状況です。インバウンド対策が有効だという話をいただきましたけれども、まだまだ足りないんじゃないかと、もっともっと力を入れるべきではないかという気がしております。西部圏域の外国人宿泊客数の評価はＡとなっておりますけれども、日本人の入込みをカバーするぐらいがＡ評価じゃないかと、もっとやった方が米子市の地方創生の特色が強く出るのではないかと、期待を込めて、厳しい意見ですが、お話しさせていただきました。

○古賀座長

ありがとうございます。外国人の観光客数が増えているとはいえ、実質的には全体が減っているということで、もう少しインバウンドの対策を強化すべきではないかというご意見でした。外国人の受け入れに関して、何か障害になっていることがあるようでしたら、その辺についても情報をいただければと思います。大塚さんお願いします。

○大塚経済部長

市の方としましても、今非常に儲かっている、大阪ミナミなどが日本人客をあんまり相手にされずに、外国人客で儲かっているということです。

皆生温泉につきましては、ここ数年旅館の閉鎖などがございました。ただ閉鎖した旅館ひとつは地元、ひとつは県外と買われまして、新しい高級旅館を建てていくということでございます。一軒は既に着手されておりますし、もう一軒は今どういった旅館にされるかということを、精査中・考察中ということです。やはり皆生温泉につきましては旅館の街という全体を通してですけれども、旅館の経営形態というものを少し変えていく必要もあるかと思います。新しい旅館の一つは今年度中、一つは数年先になると思いますけれども、皆生温泉の街づくりの起爆剤になるということを期待しておるところです。

冒頭に言いましたように、米子市でも、外国人の観光客の方で日本人のお客様の部分をカバーしていかなければならないということは、ごく近い将来、必要不可欠でございます。どういったことが事業者さんの課題になるかということですが、事業者さんのなかには、まだまだ外国人さんアレルギーということがございます。そういった点を行政が支援するとなりますと、ある程度の塊で、外国人さん、中国なのか東南アジアなのか欧米なのかヨーロッパなのかというようなことを含めて、商売される方々の気運の醸成と言いますか、気持ちの切り替えについても一生懸命啓発しながら、行政の支援が無駄にならないような形の支援策を検討してまいりますので、皆様方のご指導ご協力を含めましてよろしくお願いします。

○入江委員

期待しております。

○古賀座長

今のご発言に関連しまして、私からもお聞かせ頂きたいのが、温泉に外国人客を受け入れるにあたって抵抗感があるのは確かだと思いますが、米子在住の欧米人の方とお話することがありますが、温泉はタトゥーがあると入れないということがあります。

タトゥーに関する考え方が、日本人の認識と外国人で違っておりますので、この辺りを改善する必要もあるのではないかと感じたりすることがあります。皆生温泉の受け入れの機運醸成に向けましても、是非ご議論をいただきたいと思っておりますが、その辺りはどういうふうに考えたらよろしいでしょうか。

○大塚経済部長

タトゥーの問題ですが、行政としては、なかなかストレートにお答えしにくい部分がございます。おっしゃったとおりの実態がございますが、いま皆生温泉の街づくりの会議をずいぶん進めておりますので、本会からそういったご指摘があったということを出しまして、直接ご商売される皆様の中で検討いただいて、その検討結果を行政の判断にさせてもらいたいという風に考えております。

○古賀座長

もうひとつだけ。今のは外国人の客数の増加の方向がないかという話ですが、全体として減っていることにつきまして、国内の観光客をどのようにして受け入れるかということを合わせて考えておく必要があるかと思います。こちらにつきまして対応策については現状どういう状況でしょうか。

○大塚経済部長

国内ということになりますと、３年前に圏域市町村の中で地域の実態調査が行われました。結論を申し上げますと、知名度が全く足りない。知らない所に人は来ないよというようなことが、端的にいうと結論にございました。皆生であるとか大山であるとか境であるとかいうような、単独の形ではなかなか圏域に取り込むことができないという結論でございまして、広域連携に、今この鳥取西部圏域または中海宍道湖大山圏域という形で力を入れる中で、全国発信・海外発信をしていこうと。その中でおもてなしの良さによって、各市町村が切磋琢磨して広域を挙げていくという形で、意思統一が図られて、本年度ご承知のように大山開山１３００年祭などもそういった基本的な考えのもとで連携しながら進んでおるという状況でございますので、広域連携というのも一つの大きな集客の柱ということで考えております。

○古賀座長

一箇所だけではなかなか魅力というのを伝えきれない部分を、もう少し広域で見て行くことによって魅力を伝えることができるんではないかという取組でした。その他、何か発言等ありますでしょうか。

○山下委員

私から二点。一点は皆生温泉の話が出ましたので、ここの資料４の裏面にも観光拠点の整備ということで、観光センターの改築工事を行ったとありますけれども、これについての意見です。先般プラネタリウムも開催されて、私も見に行きました。非常に観光客の方がたくさん来られていて、一つの観光センターの非常に良い取組だと思っておりますので、これについては色々なアイデアを用いて、皆生温泉に来られた方が楽しめるイベントですとか取組を続けていただきたいと思います。

他方、皆生温泉全体で見ると、空き地や駐車場用地、もともと旅館があったところだと思いますが、かなり散在していると言いますか、目につくんですね。各旅館さん、宿泊施設の方は館内では非常にお客さんを楽しませるいろんな取組をされていますが、一歩外に出た時に皆生温泉全体としての魅力がどうなのかなと、この度「皆生温泉周辺地域の活性化に向けたまちづくり」という施策を追加して、これからいろんなまちづくりについて考えていくということで取り組まれていると思いますので、ぜひ皆生温泉全体が旅館に泊まっている方、そうじゃなくても皆生温泉に遊びに行けると、そうした街づくりについて、広くアイデアを募集して、取り組んでいただきたい、頑張っていただきたいと思います。これが意見です。

二点目ですが、商工会議所の但馬事務局長さんが今日いらっしゃらないので私の方からお願いをさせていただきます。お手元に「創業チャレンジセミナー」のチラシを２枚お配りしております。これは先だって８月１８日と１９日に、小学生向けと中高校生向け２日に分けて行いました。簡単にご説明しますと、小学生向けにつきましては、全部で２１名、市内並びに鳥取市から１名参加をしていただいて、まず加茂川辺りを約１時間歩きました。地蔵であったり、白壁であったり、加茂川であったり、米子の古き街を見て何か注目できるところ、テーマを発見しようということでフィールドワークをしました。その後、戻りまして、５つのグループに分かれて、自分たちが注目した点について商品開発をそれぞれが行い、それをグループでディスカッションをして、発表する、そういう取り組みでした。小学生から出た意見としましては、面白いものとしては、「お地蔵さん型ウォーターサーバー」水を入れるところをお地蔵さんの形にして、その中に大山の水を入れて販売する。そうするとお地蔵さんの商売繁盛のご利益なんかも得られるんじゃないか、というものや、城跡とお地蔵さんの手作り体験ということで、城跡のところで簡単なお地蔵さんを作り、それをお城に飾る、そういう体験型を商品化したらどうか、ですとか、アプリとしてお地蔵さんを巡るというもの、しかし歩きスマホはダメだとなって、音声案内を聞きながら案内できるアプリを作ったらいいんじゃないか、といった非常に面白いアイデアが出されました。２日目の中高生向けにつきましては、全部で１１名の高校生・中学生に参加してもらいました。午前中はコミュニケーション能力を高めるということで、参加者だけでなく、講師やスタッフ、また見学者と、大人も子供も入り乱れてゲームやインタビューを通じていろんな人を知ること、自分の考えをしっかり伝える、コミュニケーションのゲームに取り組みました。午後は各人が考えてきた、いわゆる新しい事業、創業のアイデアを発表して、それを聞いている人が一人１，０００万の紙のお金をいくらどこに投資するかということで、事業性についてグランプリを決めたんですけれども、一番票が集まったのは、外国人の方の就職を支援していく、またその外国人で働いてる方に日本語を教えていく、こ

ういう事業をやったらいいんじゃないかという、中学校１年生アイデアです、あと家庭用の水力発電機、いわゆる家庭の台所の排水溝につける発電機を開発したらどうかという米子高専の学生さんのアイデアや、すでに一部あるんですが、いわゆる美容出張、災害にあった方に癒しを提供するということで美容師さんが出張してサービスするという取組、いろんなアイデアが出ました。全部突き詰めていくと、例えば少子高齢化の問題であったり、インバウンドや海外展開の話であったり、中にはおじいさんの店を引継ぎたいという話もあって、いわゆる事業承継ですよね。学生さん自身は気付いてはいないんですけれども、全て、地方創生に直結するようなアイデアが出てきているんですよね。本日の資料を色々見ると、雇用創出数も、残念ながら２９年度は創業によるものが８２人、前年度の１８３人ら減っていますし、人口動向の移住の理由を見ても、起業としては０ということになっております。

「創業」「起業」について、これが非常に大事な事柄であって、この米子のいいところに目をつけて、それを題材に自分たちの事業を、この米子で起こすという、そういう道もあるんだというようなことを、小学生・中学生の時から体験することができる、非常に良いチャレンジセミナーを開催しております。少し補助金も頂いたということですけれども、予算的な応援と、募集について、ちょうど夏休み期間に入るものですから、苦労されたということですので、来年また行われると思いますけれども、そういう市立小学校中学校の学校の生徒さんに、早めにチャレンジセミナーについて周知していただいて、たくさんの生徒さんに参加してもらって、将来こういう道もあるんだと、そういうモチベーションアップにつながるということに、ご協力を賜りたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

○古賀座長

ありがとうございました。一点目が皆生温泉につきまして、個の努力だけではなくて、地域全体の魅力を上げるような街づくりをすることができないかということでした。これにつきましては、国内の方々への魅力発信と合わせてなんですが、この米子市内の方々に、ここが観光資源であることを再認識するきっかけになるかと思いますので、皆生温泉の観光地としての整備を進めていただければ、というご意見でした。もう一つは創業チャレンジセミナーの紹介でした。私も非常に面白い取組だと感じております。米子市の魅力を子どもさんの目線で見てもらう、魅力を発信する方法を含めて、何か外に向けてビジネスになるようなものがないだろうかそういった創業体験によって、いずれ起業化してビジネスにチャレンジするというような若者が出てくる、そういったことに繋がる取組ではないかなと感じました。私ども鳥取大学も、発明教育という形で出前授業をやっておりまして、小中学生に向けて、こういった発明の面白さ、もの作りを通じて新しいビジネスへのチャレンジというところも、話をしているところです。しかし、学校教育の中にこういったものを根付かせるということに向かっては、なかなか難しい部分もあります。こういったチャレンジセミナーによって、子供さんが自分の仕事を持つことについてイメージができると、米子市内でも創業に向けた支援等があるということを見てもらえるのではないか、あるいはそれに向けて市ですとか企業さんが、子どもたちを受け入れるようになればと思い

ますので、このチャレンジセミナーから実際の会社までの道筋を、あわせてご議論いただければと思いました。

今、山下さんのご発言に関しまして、米子市さんの方から何かありますでしょうか。

○大塚経済部長

今、説明をしていただきましたとおり、市の方でも、この創業チャレンジセミナーの開催につきまして、非常に皆様にご協力を頂いて感謝しているところです。そういったなかで、地元愛の醸成でありますとか、もともと商都米子、それぞれ独立精神の中で商売を始められたという精神が最近薄れているようにも思っております。こういったなかで、子どものうちから、しっかり植え付けていくということが大切であると考えておりまして、支援の形態を検討していかなければならないと考えております。また反省会の中でも、生徒さんを集めるのに非常に苦慮したという話がありました。夏休みですのでスポーツ教室でありますとか、特に中学生さんの場合では塾ですね、そういうものと重なる部分もありますので、一度話し合いを持たせていただいて、時期や基本的な考え方も含めて、どういった形が一番発展していている形態になるのかということを含めて、ご相談させていただければというふうに考えておりますので、引き続きよろしくお願いします。

○古賀座長

その他、ご意見などありますでしょうか。

○森田委員

山下委員から話があったように、皆生温泉でプラネタリウムとか最近では新聞にも載ったＬＥＤなんかで、夜楽しむような感じですけど、観光協会含めて色々な取り組みをしておられるというのが分かります。一点だけ、その時に情報の発信と受信、ここがないと一方方向で、開催する方も人集め、あるいはお客さん側も楽しみを見つけることができないのかなと思います。

岡山県で、空メールを送ると各施設で２週間程度ｗｉ－ｆｉが使えるというサービスがありまして、一昨年行ったのは駅前だったんで、駅近だけなのかなと思ってたんですが、去年岡山大学の工学院の方に行くと、そこでも同じシステムで使えまして、公的なところがそういった整備をすれば、米子駅前のホテル、あるいは皆生温泉とかですね、日本の方も、外国の方とかは特にｗｉ－ｆｉの環境が整っていると、情報収集が非常にしやすいと思います。もうご存知かもしれないですけど、米子市でもできないかなというのが一つ提案でございます。

○古賀座長

海外の方々が、今、活用可能なｗｉ－ｆｉとかネットワークの利活用についてのサービス整備ということにつきましてはいかがでしょうか。

○大塚経済部長

ｗｉ－ｆｉの機器整備ということでございますが、実は米子市では、かなり前から個別の店舗の整備について県も含めて補助金を作っておりました。ところが今の時代になりますと、個別にしてありますので、ある程度の大きさを持った一体的な整備というのが逆にしにくくなっているという状況がございまして、どこかの時点でエリアごとに区切ったｗｉ－ｆｉの整備というものを検討していく時期に来ているのではないかと考えておりますが、費用を伴うことでございますので、街づくりの中でもう少し検討していくことになるかと思います。

○森田委員

ｗｉ－ｆｉの設備自体は大学が持っているんじゃないかと思います。運用に関しては包括して公共の機関なのか分からないですけれども、そちらがやるような形にすればお互いメリットがある話なので、例えば機器類は米子高専が準備する、運営に関しては米子市がやるというような形であれば、お互いにメリットがありながら、お互いに予算を出しながら、ということができるのかなと、お互いに良いように、鳥取大学さんなんかも含めてできることかもしれないですが、そういった方法で無理がなく、お互いウィンウィンの関係になるような感じで出来ればと思いました。

○古賀座長

昨年度から、伊木市長さんの公約に基づいてたくさんの項目が追加されております。赤字で「施策の追加」と書かれたところが新しい項目になっております。ものによっては、まだまだこれから取り組むものも多々あるかと思いますが、是非こちらの新しい取組につきまして進捗を少しお聞かせいただきたいと思います。例えば中心市街地の活性化に向けての取組ですね、交通機関を含めた取組状況、それからシティプロモーションの部分など進捗があったものにつきまして、是非紹介いただければと思いますが、お願いできますでしょうか。

○大江総合政策部長

今ご意見いただきました、公共交通であるとかシティプロモーション、これは新市長になってから追加した施策でございます。いずれも、まず市役所庁内で職員によるプロジェクトチームを作りまして、それぞれ約１年間検討してまいりました。公共交通につきましては、やはりみんなが快適、快適とまではいかなくても便利に円滑に移動できるということを目標にしております。ただ現実的に、田舎の人は自家用車という非常に便利な交通手段を持っておりますから、それがあるという前提で公共交通をいかにしていくかというのが非常に難しい問題でございます。ただ、現時点で公共交通の米子市のビジョンというものの素案をまとめまして、この９月に議会に報告した上でこれは一般の方にも意見を伺う機会を設けながら、年度内に大きな公共交通ビジョンというもの策定していく段階に来ております。またシティプロモーションにつきましても、これも庁内の意見に基づきまして、新たに総務部の方にシティプロモーション推進室という機関を作りまして、いかにして米子市の素晴らしさを出していくか、ということを非常に力を入れてやっているところでご

ざいます。現実的にこれが今どういう形でというのは明確に言える形ではありませんが、日々、発信をしていく手法を検討しながら、実践に移していくという段階に来ております。以上でございます。

○古賀座長

中心市街地の公共交通機関の利活用につきまして、確かに米子市さんの中でご議論いただくのと合わせて、市民の意見を広く集めていく必要もあろうかと思います。実際に利用者がどれだけいるかということを確かめないわけにはいかないということで、是非その辺ですね、議論を深めていっていただいて、できるだけ中心市街地の方に人が集まるような仕組みを検討いただければなと思います。合わせてシティプロモーションにつきましても、特にこの米子市の魅力の発信ということで、外に向けて米子市の良さをいかにして理解してもらうか、特にこれＩターンといった形の、人の入込数にも合わせて向かっていく話だと思いますので、是非ご検討を進めていただきたいと思います。

それから個別に教えていただきたいのが、新しく設定されたものの中で、健康寿命の延伸に関しての取り組みがあったかと思います。こちらにつきまして今後の方向性、現場も合わせてですね、状況をお知らせいただければなと思います。

○倉本まちづくり戦略室長

こちらは長寿社会課の担当ですが、本日はこちらに来ておりません。詳細は書いてある通りですけれども、認知症予防プログラムの利用者数ということで、年間の目標を掲げております。昨年の年間６５人を平成３１年度に９５人に拡大していきたいというところです。昨年度の実績が８６人という実績でした。評価としてはＡということで、引き続き取組を続けていきたいと思っております。

○伊澤副市長

言われるとおり寿命がどんどん伸びているんですけれども、ただ生き長らえればいいのか、そんなことはないよね、ということで、いわゆる生涯現役と言いましょうか、最後の最後まで自分の望むことをして生きていく、これができる健康寿命というのが大事だと考えております。取組については、認知症予防ということもありますが、その前段としてのフレイル対策、加齢性虚弱に対する取組も必要だろうということで、運動を中心とした取組をやっております。例えば「がいなみっく予防トレーニング」とかですね。それに加えて最終的には地域保健の健康管理を充実していくということ、それを最後は高齢者の方につなげていく取組が必要ではないかということで、まだここで発表できる段階ではございませんが、フレイルを啓発だけではなくて具体的な危険因子の発見とか、あるいは危険因子に応じた個別の対応作りといったようなものですね、これは実は市内の企業さんと鳥取大学医学部さんと米子市と三者連携でやるような取組を、今交渉中であります。できれば近く、そういった動きを打ち出して、市内のモデル地区等を設定したところで実証実験をやりながら、それを全市的に、できれば全国に広げるような取組にしていきたいと考えているところでございます。それをご紹介いたします。以上です。

○古賀座長

米子市といいますか、鳥取県は長寿の街、言い方を変えれば高齢化の進んだ街と言ってもいいですが、そういう意味でも、全国の一つのモデルとして発信できるのではないかと思います。健康長寿の街ということを演出することによって、米子市のイメージアップと合わせて、高齢者の元気に健やかに生活できる街ということができれば、非常に発信力のある事業になってくるのではないかなと思いますので、是非進めていただきたいという風に思います。

その他もし何か進捗につきまして報告等ありましたら、新しく設定されたところにつきまして、教えていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

○倉本まちづくり戦略室長

この度追加した施策について、その他のものについては、今年度の取組状況について、来年度に報告させていただきたいと思います。

○伊澤副市長

今日たくさんの方にご指摘いただきました、皆生温泉のことですけれども、私の方から、喋りすぎると色々差し障りがありますので、少し言葉を丸めてお話しますが、皆生温泉の問題といったら米子市としても、正直非常に大きな課題だということと、ここ数年来にわたって様々な取り組みをしておりますが、なかなかそれが成果という形で現れてこないのはご承知の通りです。かつて、入湯ベースで７２万人ぐらいの入込客数だったのが、最新の数字で３８万人になっているということで、大体半分位になってしまっている。当然のことながら、それに伴う廃業とか縮小とかいうのが街の光をどんどん消していく、というようなことになります。私も関係者の方と意見交換をしたことがあるんですけれども、皆生温泉については、栄えた時期があって、且つそれから長い時間が経過している街でありまして、米子市の観光としては絶対にここを復活させないと、米子の観光の復興はないと思っておりますが、正直に言ってなかなか難しい課題があります。温泉街の街づくりというのは、当然そこで営業しておられる旅館関係の皆様方のまちづくりに対するビジョンが必要になるといいますか、市が絵を書いて、道路を整理すれば旅館が賑わうかというと、そうはなりませんので、伊木市長就任以降ご紹介したことがあるかもしれませんが、「まちづくり会議」というのを地元の関係者に作っていただいて、市もそこに組み付いて、議論を進めてるところでありまして、少し時間がかかってもしっかりやって、みんなが共通のビジョンを作って、そしてさらなる役割分担をして進めてまいりたいと思っております。

なかなか結果が出ておりませんので、皆様方にご心配を掛けていると思っております。今日の皆様方のご意見はまた改めて地元関係者の皆さん方のご意見交換の素材にさせていただきたいと思っておりますので、少しでも強い思いを持って取り組んでいるということだけご理解いただければと思います。以上でございます。

○古賀座長

皆生温泉を観光資源としてしっかり確立するということでは、もちろん皆生温泉の旅館を経営されている皆さんの参加が不可欠であるということがあるかと思います。またこういった観光に関して申し上げますと、例えば温泉好きな人が温泉を回りたいという、皆生温泉とかたくさんの温泉がこの地域にあります。広域的な取組が必要かもしれません。あるいは、淀江にも私のよく行っております温泉があります。こういった温泉巡りという形でコースを設定するとか、あるいは歴史好きにはたまらない部分も多々あるかと思いますので、歴史の再発掘という形で、今回、新たな施策にも上がっております、淀江地区の開発あるいは城跡というところですね、ここら辺の整備というものを合わせていくことによって、もしかすると観光立地としてコースの整理ということができるんではないだろうか、そうすることによって道筋が出てくると。場合によっては中心市街地と皆生温泉との道筋を公共交通機関で繋ぐことによって、道筋ができて、そして利用が増えるというようなこともあるかと思いますので、ぜひ総合的に見ていただければというふうに考えておりますので、引き続きご検討いただければと思います。

新しい政策につきましては、次年度以降また改めて進捗についてご報告いただけるということですので、楽しみにお待ちしております。よろしくお願いいたします。

○大江総合政策部長

先ほど座長さんが言われた中で、中心市街地の事を直接触れなかったので追加させてください。ご承知の通り中心市街地といいますのは、米子市の場合は角盤町エリアと駅の部分、それからそこをつなぐ商店街２核１モールという形での推進を進めてまいりました。現状のとおり、角盤町エリアは、旧「やよい」の跡地は民間によって駐車場という形になって、高島屋東館も市が一旦寄付を受けた後、多分来年の今頃のオープンになる形になるとは思いますけれど、民間の方で新たにリニューアルされる形になっております。そういうようなことで、いま角盤町は高島屋が中心となって民間の力でというのが中心になります。これは宣伝ですけれども、その駐車場と「えるもーる」を使って、今週の金曜日から地ビールフェスタが開催されます。これは、とりあえず８・９・１０・１１月のプレミアムフライデーで人を呼び込むイベントということで考えております。

それから駅の方も南北自由通路ということを一つのきっかけとしまして、米子駅の前、例えば県が持っておられるだんだん広場、米子市のグルメコート、それから駅前を通じて文化ホールの前辺りまでのエリア一帯でもう一度考え直してみようということで、これもプロジェクトを作って、商工会議所さんにも非常にお世話になりながら、取り組んでおります。そういう形での中心市街地の活性化にも力を入れてきておりますので、また来年度以降、報告できることがあるかもしれません。そこをつなぐ商店街については、なかなか難しい状況ですが、こういうところの進展も徐々にしっかりやっていかなくてはいけないと思っております。

現在、コンパクトシティにもう一つネットワークという形も市長の考えにありまして、各市内のそれぞれの拠点を繋ぐようなイメージです。具体的には、皆が街中に集まってこいではなくて、米子市の場合、ＪＲで駅が境線と本線と合わせると１２駅あります。その中にはエリアの中心なり得るところがあるんじゃないかということで、そこを活性化させ

るような形も考えていきたいと思っております。例えば本線であれば伯耆大山駅周辺、境線では後藤駅周辺であるとか弓ヶ浜駅周辺、そのあたりを一つのエリアの核として開発していきながら、公共交通も発展させていけるのではないかということを合わせて考えておりますので、これについても来年度以降いろんな進展を報告できるのではないかと考えております。以上です。

○古賀座長

これから中心市街地の活性化に向けての活動も合わせて、進めていただきたいと考えております。私は県外から来た人間ですので、米子市の魅力って多々あると思っていまして、例えば私は地方創生の第一歩は朝日町の活性化ではないかなと思っていまして、朝日町の観光マップを作ればいいのではないかと。外から来られた方々が、どこをどう楽しんだらいいのかということをガイドしていくということができれば、非常に良い町並みが揃っているという風に感じています。先ほど山下委員からお話がありました、お地蔵さんの活用も面白いと思っておりまして、例えば、ポケモンＧＯと共同して、お地蔵さんのレアなポケモンを得られるとか、そういうかたちで人の往き来が出てくると、何かそこに観光が生まれ、そして経済活性化に繋がる動きが出てくるような気がしております。米子市において魅力の発掘が十分できてないような感じがしていますし、十分な活用もできていないような気もします。そういったところをひとつひとつ発見すること、というのも合わせて是非していただきたいなという風に感じております。

○岡村委員

もしかしたら、総合戦略と外れることかもしれません。質問ではなくて意見として聞いていただければと思いますが、この総合戦略の中にも新しい追加政策として城跡の保存、整備というところが新しく加わってきております。これをちょっと公園って言っていいのか私も分かりませんけれども、先ほど駅前の、県が持っておられるだんだん広場の話があったり、米子市さんが持っておられる公園がいろいろあると思いますけれども、この公園をもう一回見直すということが必要なのかなと思っております。先ほど大江部長からもありました、エリアエリアで駅の周辺を開発していくということに繋がっていくんでしょうけど、公園を、現状だと維持管理という観点から管理をしてきておられますが、これを利活用というところで、もう一度マネジメントを考えていくということで、そこに人が集まる、人が集まればマネタイズのポイントが出てくるので収益を求めて民間事業所がやってくる、ということもあろうかと思います。米子市さん全体の持っておられる公園をもう一回洗い直して、ちょっと方向性をつけていかれることで、もしかすると県外からも、人を呼べるような公園ができたりするんじゃないかということも中にはありますので、総合戦略の枠組みとはちょっと外れるかもしれませんが、そういったことも一つ検討していかれるといいんじゃないかな、という意見として聞いていただければと思います。以上です。

○古賀座長

ありがとうございました城跡につきましては、今回ライトアップされて非常に良くなっ

たように思います。それがやはり私たち米子市に住んでいる人々の一つのシンボルにもなっているように思います。ぜひこの公園としての整理ということにつきまして、米子市さんの状況ですとか、考えにつきまして、ご紹介いただければと思いますが、どなたかありますでしょうか。

○伊澤副市長

岡村委員のお話は非常に優れたご指摘だと思います。米子城跡、これを本格的に貴重な文化財として保存活用していこうということで、構想なり計画を今詰めているところでありまして、基本的には民地もございますので、これを公有化して、保存活用して、イメージとしては史跡公園ということが中心になってくるんだろうと思っております。ただ、史跡公園でありますので、保存とそれから活用という両面から検討していく必要があると考えて、取組を進めております。これは是非、市民の賑わい・憩いの場ということだけでなく、よそから来ていただくような観光資源にもしたいということで、先行する形でライトアップ、あるいは石垣が良く見えるように木を切っております。ところがこの木を切るのも非常にお金がかかっておりまして、大きな木がたくさんあるものですから、史跡の保存の観点からも木を伐採しておりますが、非常に経費がかかっている状態で、結構お金を掛けているんですけど、遅々として進まないというような課題もあります。いずれにしてもしっかり史跡を市民の宝として、あるいは外に向かって誇れる宝としていきたいと考えています。

それから、それ以外にも、お話が出ただんだん広場、これは南北自由通路の整備に伴う結節的機能としての米子駅北広場の問題、それから例えばですが、まだ具体的に喋れる段階にありませんが、東山運動公園と東山公園駅との関係とか、それから淀江の関係で、「古代伯耆の丘公園」の将来的な利活用、「妻木晩田遺跡」や「ゆめ温泉」、こういったようなものと一体的に、どう位置づけていくのかといった観点など様々な観点から公園を有効活用していくことにチャレンジしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。

○岡文化振興局長

今公園という視点で副市長の方から米子城跡について申し上げました。一言添えさせていただきますと、いま申し上げましたように利用しやすい、そしてきちんと文化財として後世に伝えていくような保存、それと活用するための整備に取り組んでいるところでございまして、整備基本計画を策定するべく取り組んでいるのが現状でございます。そしてこの米子城跡を観光の目玉として、皆生温泉などと合わせて、市の一つの名物としての活用の可能性と、市民の地域への誇りと言いますか、愛着、そういったシビックプライドの醸成にも役立ってくるのではないかと考えております。そうしたことがまた、地方創生にも繋がってくると思いますので、その辺も十分に考えながら整理していきたいと考えております。知っていただくということがまず大事ですので、市民の方に知っていただいて、楽しんでいただいて、これをもって外に向かってアピールして、外から来ていただいたお客さんにも色々な楽しみ方をしていただくという事で、ソフト事業を連続的に展開しており

まして、こちらも合わせてハードソフト両面で進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

○古賀座長

ありがとうございました。これからそういったシンボリックな存在につきまして、地域の愛着に繋がるような活動をぜひ展開していただければ。米子城跡につきましては今まだまっさらな状況と言ってもいいぐらいの状況ですので、いろんな人がいろんな意見を言うかと思いますが、是非前に向かって進んでいただければと思います。

個人的に、ライトアップするからには在りし日の姿、お城をホログラムみたいな形で映像で映しだすと面白いんじゃないかということを感じた次第です。

淀江につきましては、私は温泉を非常に気に入って、よく使っておりますので、あまり知られたくないなと思うんですが、ぜひこの魅力を発信していただければと思いますので、是非引き続きよろしくお願いします。

○山下委員

余談ですが、米子城の再建はできないのかなというのをずっと思っています。お聞きするとかなり、４０億ぐらいかかると。というのが、当時の工法や材質で建てなきゃいけない。またいろんな法律の制約があって、なかなかできないということはお聞きしておるんですけれども、やっぱりあそこに立派な天守閣が、二つあるという珍しい、米子城独特の構造とかを見ると、やはり先ほど座長がおっしゃったように、中海から見た時にあそこに二つの天守閣が見えるとか、ライトアップされた天守閣があるというのは、米子のシンボルとして非常に大きなものになると思います。なかなか制約があって、無理だというのは分かっているんですけれども、お金の点であればふるさと納税とか、全国には聞いたところによると米子東高校出身の経営者の方がたくさんいるということなので、そういった方に寄付を募れば集まるんじゃないかとか、いろんな話も聞いたりしていますので、なんとかあそこに米子城を再建できないかなっていうのは、実現に向けてお考えいただければ、楽しみにしたいなと思っていますのでよろしくお願いします。余談でした。

○古賀座長

ぜひ城をどうやって再建するか、知恵を絞っていただいて、なんとか在りし日の姿を偲ばせるような取組になってくれればと思います。よろしくお願いします。

ご意見等ないようですので、議題の方は以上をもちまして終わりにしたいと思います。

続きまして、今後のスケジュールにつきまして事務局の方から説明をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

事務局　資料５「今後のスケジュールについて」説明

○古賀座長

例年通りの動きになっているかと思いますが、私どもこの有識者会議の開催につきまし

ても１０月１１月頃ということで予定していると。例年ですと年３回ですので、１０月１１月、その後２月３月頃にもう一度集まるようなスケジュールになるんでしょうか。このような形で例年通り進められているということでございます。こちらにつきまして何かありますでしょうか。

（なし）

それでは議題の６番目に参ります。その他につきまして事務局の方から何かありますでしょうか。

（なし）

もし委員さんの方で、何か進捗等この際紹介したいこと等ございましたらご発言お預いただきたいと思いますがいかがでしょうか。

（なし）

それでは、これをもって閉会とさせていただきたいと思います。本日はありがとうございました。

１１時５０分　閉　会